

2024年度

ニチイキッズ大津駅前保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025年2月1日（土）～2月28日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年3月4日（火）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	保育理念である「おもいっきり遊ぶ」「おもいっきり学ぶ」に則り、子ども達一人ひとりの気持ちに寄り添い、保育士も子どもたちとおもいっきり楽しむことにより子どもも保育士も主体性を重視した保育を行うことができた。
子どもの発達援助	個々の思いを受け止めながら子ども達が主体的に活動できるように、子ども達の「いま」を大切にし、子ども達がいきいきと活動できるように子ども達の発達を把握し、状況を保育士間で共有し子ども達との信頼関係を構築してきた。
保護者に対する支援	園内や家庭での様子が共有できるように、CoDOMONでの家庭の様子を確認、送迎時にお家での様子を再度確認し、保育園での様子を伝え保護者が安心できるように、丁寧な関わりに心掛けた。また、日々の子どもの様子をホームページを毎日アップすることによりタイムリーに配信し保護者に喜んでいただけた。
保育を支える組織的基盤	毎日ミーティングを行い保育の「気づき」の共有を行った。また、定期的に職員会議や園内研修を行いスキルアップをはかり、日々の保育リーダーを決めることにより、保育の質の向上に努めた。

総評
「いま」子どもたちは「何がしたいのか?」「何に困っているのか?」を保育士間で共有するため、毎日ミーティングを行った。子どもたちが保育園で安心・安全に生活するためにはどのような関りが必要かを話し合い、保育士が同じ関りをする事により、子どもたちとの信頼関係を構築することができた。また、コロナ感染症が5類に移行されたため、保育参観を行い日々の保育の様子を見てもらうことにより、保護者の思いも聞くことができ信頼関係も深まった。今後も保護者の思いに耳を傾け保育に携わっていきたい。